

Hitachi Diagnostic Tool

HDM-330

重要

ご使用前に必ずお読みください

出荷時に診断ソフトはインストールされていません。
登録とアップデートを行ってから、
診断を行ってください。

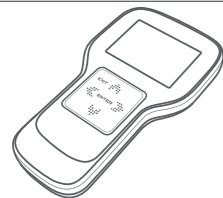


下の画面の場合は診断ソフトがインストールされていない状態です。本書を参考にユーザー登録とアップデートを行って最新の状態でご使用ください。
アップデートプログラムは Windows Vista 以降に対応しています。

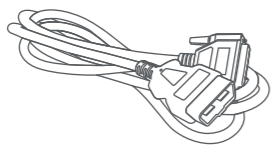


HDM-330 パッキングリスト

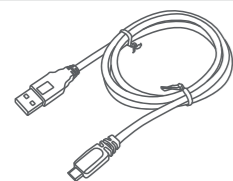
本製品のパッケージには以下の商品が含まれています。
お使いになる前にご確認ください。



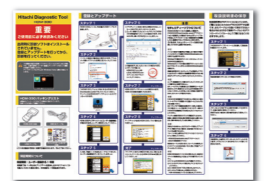
HDM-330 本体



OBD II ケーブル



USB ケーブル



クイックスタートガイド
(本書)

リスト内の製品は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

保証期間について

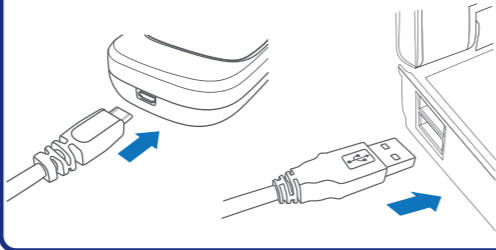
保証期間：ユーザー登録から 1 年間

期間終了後 1 ヶ月以内にアップデート延長申し込みやオプションソフトを
ご購入いただいた場合に限り、本体保証も 1 年間延長されます。

登録とアップデート

ステップ 1

HDM-330とパソコンを付属のUSBケーブルで
接続します。



ステップ 2

パソコンの画面に自動再生が表示されます。「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックしてください。※1



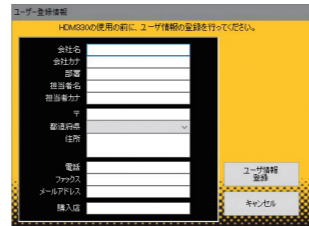
ステップ 3

「HDM330」フォルダ内にあるHDM330
Downloader.exeをダブルクリックしてください。
サーバーからHDM330アップデートツールがダウンロードされます。



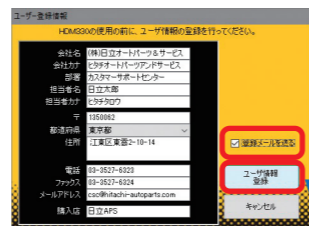
ステップ 4

HDM-330アップデートツール(ユーザー登録情報)
が表示されます。ユーザー情報を入力してください。



ステップ 5

入力後、「登録メールを送る」に✓(チェック)を入れ、
ユーザー登録情報ボタンをクリックします。※2

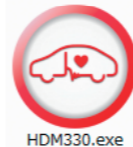


ステップ 6

- ①「アクティベートを行います」が表示されたら、メッセージ内の「OK」ボタンをクリックします。
- ②ユーザー情報を入力したメールアドレスに「HDM330仮登録完了」のメールが送信されます。本文中のURL(青い文字列)をクリックします。※3



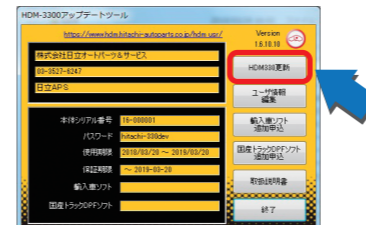
- ③「登録を完了しました」のメッセージが表示されます。
- ④ステップ2で開いたHDM330フォルダ内にある、HDM330.exeのアイコンをダブルクリックしてください。



ステップ 7

アップデート

HDM-330アップデートツールが表示されます。
HDM-330更新を選択いただけます。



ステップ 8

アップデート

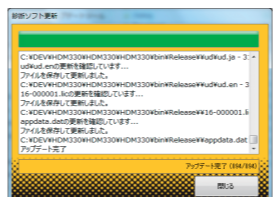
アップデートが始まりHDM-330ソフトが書き込まれます。※4



完了

アップデート

「アップデート完了」が表示されましたら、「閉じる」をクリックしてパソコンからHDM-330本体を取り外してください。※5



注意

セキュリティソフトについて

HDM-330をパソコンに接続した場合や、「HDM330Downloader.exe」(アプリケーション)を実行した場合にセキュリティソフトが反応してアプリケーションを削除または隔離したり、通信をブロックすることがあります。その場合は、セキュリティソフトの設定を変更していただく必要があります。

※1：パソコンの設定で自動再生が機能しない場合は手動でパソコンのドライブを開き「HDM330Downloader.exe」を実行する必要があります。

Windows7の場合は[スタート] - [コンピューター] - [HDM-330]を開きます。
Windows8/8.1/10の場合は画面下のツールバーから[エクスプローラー] - [PC] - [HDM330]を開きます。

[登録内容変更]ボタンをクリックしても「再試行して下さい」などのエラーが表示され登録画面が表示されない場合は[アップデートチェック]ボタンをクリックしてください。

※2：ユーザー登録画面の入力欄は全て入力してください。未入力欄があると送信できません。

また、メールアドレスを間違えると「HDM-330仮登録完了のお知らせ」が届きませんので、間違えないように必ず半角英数字で入力してください。入力が正しくないと同様に「送信できません」のメッセージが表示されます。

※3：「HDM-330仮登録完了のお知らせ」が届かない場合は、メールアドレスの間違いや「迷惑メール」フォルダなどをご確認ください。

また「ステップ5」で複数回[送信]ボタンを押した場合は、その回数分メールが配信されますので、最新の「HDM-330仮登録完了のお知らせ」のリンクをクリックしてください。

アップデート期間が表示されていれば認証完了になります。登録した情報は2年目以降の更新申込時に必要になります。印刷や保存などして大切に保管してください。

※4：「書き込み出来ません」などのエラーが発生してアップデートが始まらない場合は、本体内部メモリをフォーマットする必要があります。
フォーマット前に必要な以下のファイルをパソコンにコピーして保存してください。

- ・HDM330Downloader.exe(アプリケーション)
- ・pass.ini(構成設定ファイル)

保存後フォーマットを行います。フォーマット後保存した2つのファイルを本体内部メモリに戻して再度アップデートを行ってください。

※5：HDM-330本体のパソコンからの取り外しは、本体内のファイルの破損を防止する為、以下の手順で行ってください。

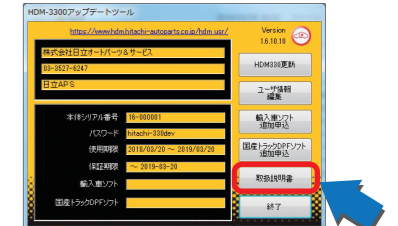
- ①パソコン上のHDM330フォルダを閉じてください。
- ②パソコンのタスクトレイの取り外しアイコンをクリックしてください。
- ③「J-OBDII SCAN TOOLの取り外し」をクリック。
- ④「ハードウェアの取り外し」が表示されたら、HDM-330本体をパソコンから取り外してください。

取扱説明書の保存

取扱説明書はPDFファイルになっています。ご覧になるにはAdobe®READER®が必要です。またバージョンの違いで表示できない場合がありますので最新バージョンをダウンロード/インストールしてご覧になることをおすすめします。

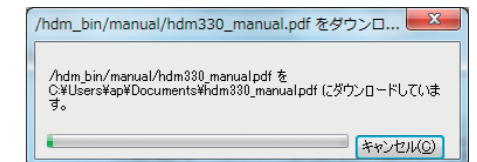
ステップ 1

「HDM330アップデートツール」を起動して[取扱説明書]をクリックします。



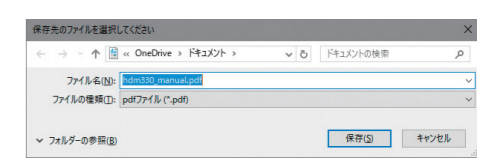
ステップ 2

取扱説明書のダウンロードが開始されます。



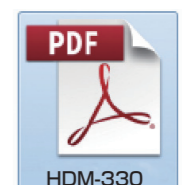
ステップ 3

ダウンロードが完了すると保存先を聞いてきますので、任意の場所に保存してください。
保存できない場合は、保存場所を変えて保存してください。



ステップ 4

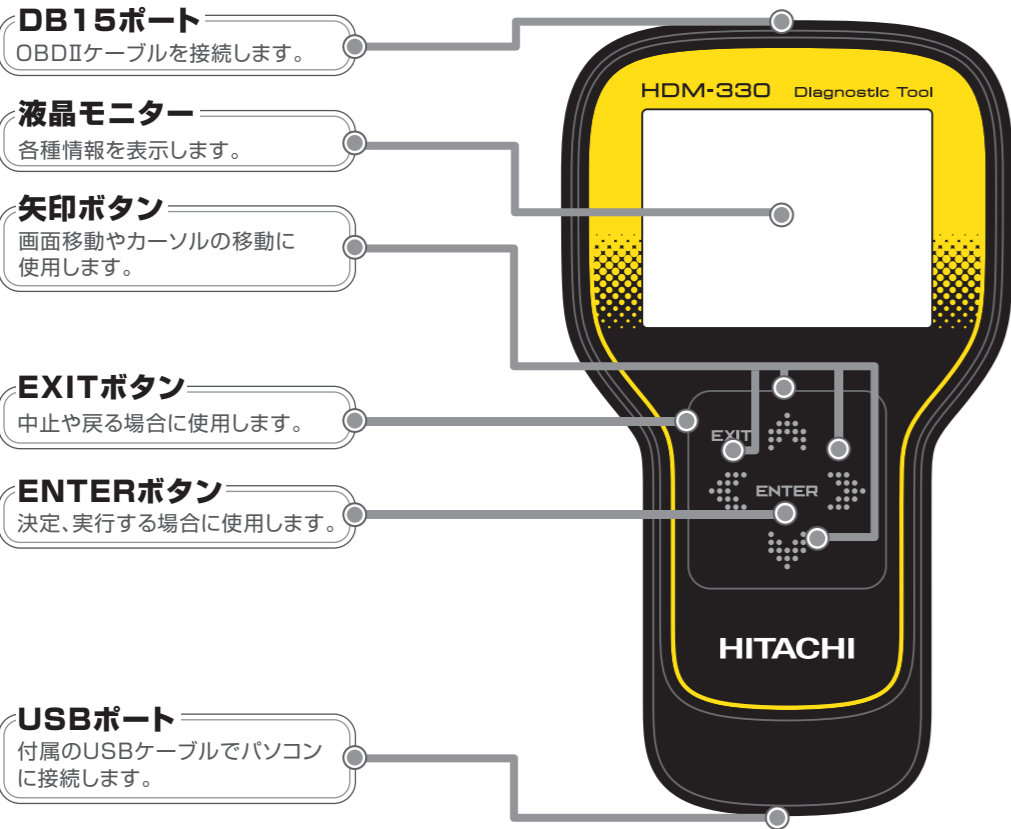
先程保存した場所にダウンロードしたファイルがあります。ダブルクリック(または右クリックで開く)で表示させます。



HDM-330 クイックスタートガイド

201805

各部名称



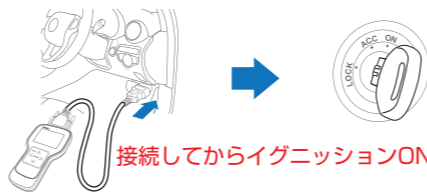
基本操作

診断を行なう場合は以下の手順で操作してください。

- ・ソフトのアップデートを行い最新の状態でご使用ください。
- ・本体やケーブルに破損や損傷などが無いことを確認してください。
- ・診断は基本的にイグニッション「ON」の状態で行ってください。
- ・診断がうまくいかない場合はコネクタの接続やイグニッションがONであるか確認してください。
- ・診断を終了する際は「メーカー選択」画面まで戻りイグニッションをOFFにして取外してください。

ステップ 1

車両が**イグニッションOFF**であることを確認してHDM-330を接続しイグニッションONにします。



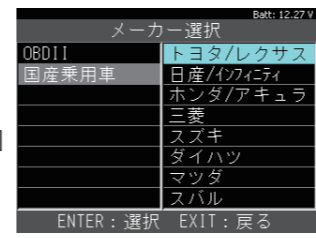
ステップ 2

メインメニューが表示されます。「診断」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



ステップ 3

メーカー選択画面が表示されますので、診断するメーカーを選択して[ENTER]ボタンを押します。



ステップ 4

診断ソフトが起動した後「地域設定」などがある場合は選択して[ENTER]ボタンを押します。



ステップ 5

診断ソフトによっては「自動検出」から診断車両を特定できます。「自動検出」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



ステップ 6

「ブランド」「車名」「型式」などを[ENTER]ボタンを押して順に選択していきます。



ステップ 7

診断ソフトのメインメニューが表示されます。故障コードの読取りは「診断」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



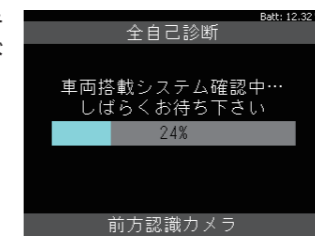
ステップ 8

例では全てのシステムを診断しますので「全自己診断」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



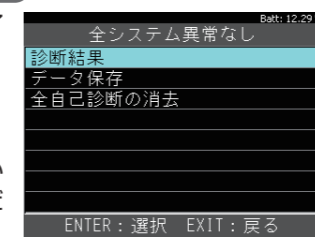
ステップ 9

車両の各システムの故障コードを読み取ります。



ステップ 10

全自己診断完了の画面です。「診断結果」「データ保存」「全自己診断の消去」の項目から選択してください。



画面説明

診断
各種診断を行います。

設定
言語など本体設定を行います。

本体ID
シリアルNo.・アップデート期間を表示します。

メンテナンスモード
エア抜きやバッテリー交換時のリセット等車検整備に必要な項目が集約されています。

履歴
保存した故障コードやデータ等を画面に表示することができます。

バッテリー電圧
接続されている車両のバッテリー電圧をECUから読み取り表示されます。

選択カーソル
選択されている項目欄の色が変わり、文字が反転して表示されます。

ページ数
ページ数が表示されます。上下キーで表示内容が変更できます。

故障コード内容
故障コードの内容が表示されます。

メインメニュー画面
HDM-330 メニュー

全自己診断結果画面
現在のシステムやメッセージが表示されます。

故障コード表示画面
P/B/C/Uで始まる故障コード、メーカー独自コードなどが表示されます。

データ保存
データを本体内に保存します。[履歴]メニューまたはパソコンで表示できます。

診断結果の表示

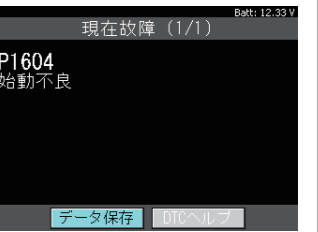
故障コードがない場合はシステム名の後に「OK」が表示されます。故障コードがメモリされている場合は故障コードの数が表示されます。(例:コードが2個ある場合「2 DTC」)



故障コードと内容を確認するには希望するシステムを選択して[ENTER]ボタンを押します。続いて「故障コードの読取り」を選択して[ENTER]ボタンを押します。

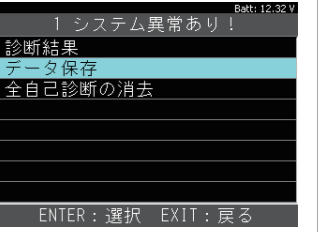


故障コードは番号(例: P01604)と内容(例: 始動不良)で表示されます。また複数ある場合は上下矢印でその他の故障コードを表示できます。



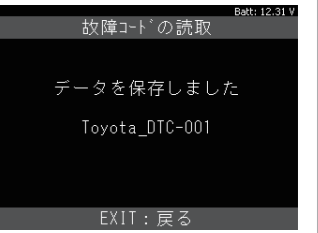
診断結果の保存

診断結果を保存したい場合は「データ保存」を選択して[ENTER]ボタンを押します。「保存しました」のメッセージとともに画面中央に保存されたファイル名(例:TOYOTA_DTC-001)が表示されます。保存したファイルは「履歴」メニューやパソコンで確認できます。ファイルは本体内の「Reports」フォルダに保存されています。



診断結果の消去

故障コードの消去を行う場合は「全自己診断消去」を選択して[ENTER]ボタンを押します。各システムの故障コードを消去していきます。



※消去は**イグニッションON**で行います。

※消去できない場合は、現在も故障が発生しており、現在故障としてコードがメモリされている状態です。

